

教科目名 機械設計法Ⅱ (Machine DesignⅡ)

学科名・学年 : 機械工学科 4年

単位数など : 必履修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教員 : 福永 圭悟

授業の概要		
機械設計者の心構え, 機械要素理解と適用方法, 具体的な設計方法, などを習得する.		
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2), JABEE目標(d1①)(g)
(1) 機械を設計する場合の基本的な心構え, 考え方を身につける。(定期試験と課題)		
(2) 安全かつ合理的・経済的に設計できる能力を養う。(定期試験と課題)		
(3) 課題を発表することによりプレゼンテーション能力を身につける。(定期試験と課題)		
回	授 業 項 目	理 解 度 の 自 己 点 検
1 2 3	第3章 軸受および潤滑法	【理解の度合い】
4 5 6 7	第4章 摩擦伝動装置	
8	前期中間試験	
9 10	前期中間試験解答と解説	
11 12 13	第6章 歯車	
14	第7章 巻掛伝動装置	
15	前期期末試験	
	前期期末試験解答と解説	【理解の度合い】
16 17 18 19 20 21 22	第8章 ブレーキ, はずみ車, つめ車とつめ 第9章 ばね	【理解の度合い】
23	後期中間試験	
24 25	後期中間試験解答と解説	
26 27 28 29	第10章 管, 管継手, 弁	【理解の度合い】
30	後期期末試験	
	後期期末試験解答と解説	【試験の点数】 点
履修上の注意	講義と課題・演習を繰り返しながら内容理解を深める。これまでに学んだ機械基礎(材料部門), 材料力学などの理論を利用するので3年の内容を復習しておくこと。	【総合達成度】
教科書	林他, 「機械設計法」, 森北出版. 独自資料.	
参考図書	兼田・山本, 「機械設計法」, 理工学社.	
関連科目	機械設計法Ⅰ, 品質管理, 機構学.	
総合評価	達成目標の(1)~(3)について, 4回の試験と課題・レポートで評価する。定期試験80%, 課題・レポート20%により評価する。 さらに, 授業態度により評価点からその20%を上限として減点しこれを総合評価とする。総合評価が60点以上を合格とする。	